

青森港開港400年に向け、高校生が描く“みなとまち”の未来 青森市長らが審査・評価する成果発表会を3月16日（日）に開催

特定非営利活動法人あおもり若者プロジェクト クリエイト（青森県青森市・理事長 久保田圭祐）は、3月16日（日）に「クリエイトまち塾2024 成果発表会」を開催します。

本発表会では、今年の青森港開港400周年を見据え、高校生が1年間にわたって検討を重ねてきた「みなとまち青森の未来」をテーマとした地域課題の解決策を提案します。フィールドワークや専門家の助言を受けながら、1年間にわたって検討を重ねた成果を発表します。有識者による審査が行われ、評価の高い企画については「みなとまち・あおもり誕生400年実行委員会」等とも連携の上、実現に向けた検討が進められます。

また、クリエイトまち塾10周年を記念し、これまでの歩みと今後の展望を考察するパネルディスカッションを実施します。

クリエイトまち塾2024 成果発表会

まちづくりと学びフォーラム

■日 時 2025年3月16日（日）13:00～17:30

■会 場 ねぶたの家ワ・ラッセ2階「イベントホール」

■このリリースのポイント

- ・ 今年の青森港開港400周年を見据え、高校生が1年間にわたり検討を重ねてきた「みなとまち青森の未来」をテーマにした企画提案を行います。
- ・ 青森市長をはじめとする5名の審査員が評価し、最も優れた企画を選出します。
評価の高い実現可能な企画については、官民連携のもと、来年度の実施を検討します。
- ・ アクティブラーニングの先駆的な取組として評価されてきたクリエイトまち塾の10周年を記念し、これまでの歩みと今後の展望を考えるパネルディスカッションを開催します。

■タイムスケジュールと各セッションの概要

13:00~13:15 開会・キーノートセッション

クリエイトまち塾の概要や半年間の取組、企画提案の課題テーマについて、ご説明いたします。

13:15~14:45 企画提案発表

ホームルーム*ごとに、20分間、クリエイトまち塾の1年間の活動報告を交え、「みなとまち青森の未来」をテーマとして、自らが主体と仮定したまちづくりの企画提案を行います。

審査により高評価かつ実現可能性の高いものについては、みなとまち・あおもり誕生400年実行委員会等とも連携の上、来年度の実施を検討します。

※…高校生は、7~8名を1つのグループ（ホームルーム）として、地元商店主・大学生1名ずつとともに半年間まちづくり活動に取り組んできました。

【審査員】※予定

- ・櫛引 素夫（青森大学社会学部教授）
- ・西 秀記（青森市長）
- ・山崎 宇充（青森市しごと創造会議座長）
- ・工藤 健（NPO法人ジュニアグローバルトレーニングスクール顧問）
- ・一山 創太郎（クリエイトまち塾OB、青森県立中央病院 医師）

15:00~16:10 基調講演・パネルディスカッション

テーマ：クリエイトまち塾10年

クリエイトまち塾は2014年度の開講以来、今年10周年を迎えました。延べ220名が参加してきた本事業のこれまでの歩みを振り返ります。また、本事業にゆかりのあるパネラーとともに、今後の姿を考えます。

16:30~17:10 フィードバック

審査員からホームルームごとに、質疑応答も交えながら企画提案に対するフィードバックを行います。

17:15~17:30 結果発表・閉会

今年度のクリエイトまち塾に対する総評と、企画提案発表の審査結果発表を行い、最も優れた提案のホームルームにクリエイトアワード2024（市長賞・市教育長賞）を贈呈します。

■2024年度のテーマ設定の意図と活動内容

今年度のテーマ「みなとまち青森の未来」は、2025年に青森港開港400周年を迎えることを踏まえ、青森市が持つ港町としての特性と歴史を未来へどう活かすかを考えることを目的に設定いたしました。高校生たちは、地域の課題を発見し、その解決策を提案することを通じて、まちづくりの重要性和自らの役割を学びました。

活動内容としては、フィールドワークやワークショップを通じて地域の現状を深く理解し、まちづくりや広告宣伝、郷土史等の専門家や地元商店主などのまちづくり関係者からの助言を踏まえ、具体的な企画提案を検討してきました。

また、これらの活動を通じて、参加者はチームワークやリーダーシップ、問題解決能力を養いました。

■取材について

- ・ 取材にお越しいただける報道機関の皆さまは会場に直接お越しください（事前申込不要）。
- ・ 入退場自由となっておりますので、対応可能な時間に会場いただき、受付でお申し出ください。
- ・ 今年度のこれまでの活動詳細は、ホームページ等で公開しています。また、連絡をいただければ詳細についてご説明いたします。

■クリエイトまち塾について

クリエイトまち塾は、あおり若者プロジェクト クリエイトが2014年度に開始した、高校生を対象としたまちづくりを通じた社会教育プログラムです。アクティブラーニングの視点を取り入れ、地域課題を自ら発見し、その解決策を探る探究型学習の場を提供しています。今年度は、商店街関係者や地元大学生がメンター（担任・副担任）となり、青森市内外の28名の高校生が地域の現場で学び、社会との接点を持ちながらまちづくりに挑戦しています。10年間の活動で延べ220名を超える高校生が参加し、地域資源を活用したプロジェクトを展開してきました。

現代の教育においては、主体的に学ぶ力や、思考力・判断力・表現力が求められています。クリエイトまち塾では、これらの力を育むとともに、ふるさと青森への愛着を深める機会を提供し、未来を担う人材の育成を目指しています。

■あおり若者プロジェクト クリエイトについて

あおり若者プロジェクト クリエイトは、若者による地域活性化活動を通じ、地域や人材の発展に貢献することを目的にしたNPO法人です。

2009年に創立され、「高校生がつくる東北新幹線開業前夜祭」（2010年度）や「あおり高校生カフェ事業」（2013年度～）、「高校生最強カレー王選手権大会」（2013年度）など若者らしい柔軟な発想を活かす取り組みを行ってきました。2014年4月にスタートした、まちづくりを通じた社会教育プログラム「クリエイトまち塾」（2014年度～）は、住友生命主催「Young Japan Action」全国大賞（2015年度）、あしたの日本を創る協会主催「あしたのまち・くらしづくり活動賞」主催者賞（2016年度）、東北電力「東北・新潟の活性化応援プログラム」最優秀賞（2023年度）など高い評価を得ています。

法人としても、内閣府主催「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」内閣府特命担当大臣表彰（2016年度）、パナソニック教育財団主催「子どもたちの“こころを育む活動”表彰」奨励賞（2017年度）を受賞するなど、まちづくり・教育の両面から高い評価を得ています。

このプレスリリースは、青森県政記者会と青森市政記者会に送信しています。

本件に関するお問い合わせ

特定非営利活動法人あおり若者プロジェクト クリエイト

理事長 久保田 圭祐